

# 東海カード会員だより

2009年12月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…詳細は各担当事務局・または校友会へ…

2009.11.26 現在

- 2010年 第85回東京箱根往復駅伝競走応援  
1月2日(土) 多数の応援スポットを設けております。詳しくは、  
～1月3日(日) 東海大学同窓会ホームページにてご確認ください。
- 1月16日(土) 校友会北陸ブロック合同懇談会  
16:00～ ホテル日航金沢
- 1月23日(土) 愛媛県学園校友会役員会  
18:00～伊予鉄会館
- 1月23日(土) 校友会北海道ブロック合同懇談会  
18:00～ 札幌パークホテル
- 1月24日(日) 群馬県校友会新年会  
14:00～ 高崎ビューホテル
- 1月29日(金) 鹿児島県白鷗会総会
- 2月7日(日) 校友会中部ブロック合同懇談会  
12:00～ ホテルキャッスルプラザ(名古屋)
- 2月11日(木) 校友会東北ブロック合同懇談会  
13:00～ ホテルメトロポリタン仙台
- 2月13日(土) 校友会四国ブロック合同懇談会  
14:00～ 阿波観光ホテル
- 2月20日(土) 校友会中国ブロック合同懇談会  
14:00～ リーガロイヤルホテル広島
- 2月20日(土) 同窓会町田支部総会  
15:00 ホテルラポール千寿閣
- 2月21日(日) 校友会九州ブロック合同懇談会  
13:00～ 博多都ホテル
- 2月27日(土) 同窓会茨城支部総会・懇親会  
17:00～ 三の丸ホテル
- 3月13日(土) 校友会関東甲信越ブロック合同懇談会  
13:00～ 東海大学校友会館(東京・霞が関ビル)
- 3月13日(土) 同窓会三多摩支部総会  
17:00～ 望星学塾

## 提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国458店舗・施設に及んでおります。(2008.7.2 現在)

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

## 東海大学ネットをご活用ください

- ・生涯メールアドレス(転送専用)の利用
- ・登録会員に対する情報の登録・公開、会員の検索とメッセージ送信
- ・詳細は以下のURLを参照ください。

[http://www.u-tokai.ac.jp/graduation/t\\_net/index.html](http://www.u-tokai.ac.jp/graduation/t_net/index.html)

## 東海大学歴史点描

日本文化を伝える交流拠点 ヨーロッパ学術センターの開設

東海大学ヨーロッパ学術センターは1970年9月、デンマークのコペンハーゲン郊外ヴェズベックに開設された。日本の大学では初めてのヨーロッパにおける常設の交流拠点だった。

学園の創立者・松前重義博士は若き技術者であったころ、34年1月にデンマークを訪問した。戦争で荒廃した国を教育の力で復興したデンマークを、約1カ月かけて視察。各地の国民高等学校で学生と寝食を共にして、ニコライ・グルントヴィが提唱し、復興の原動力となった教育を体験した。このとき松前は教育を志すことに強い思いを抱き、帰国後、東海大学の源流となる望星学塾を東京・武蔵野の地に開設した。

そのデンマークに、交流の拠点として設けられたのがこのセンターだった。開設にあたっては、デンマーク文部省などが積極的に支援し、同国で認められていなかった外国機関の土地所有が特例で認められた。初代所長には政治経済学部教授の松本馨が就任。71年には現総長の松前達郎が所長代理となり、日本文化の紹介や、学術文化交流を深める活動に着手した。

同年には昭和天皇后陛下が来訪。工学部助教授だった矢ノ上和夫が設計した日本家屋も併設され、日本文化を紹介する「日本図書展」や「日本文化週間」の開催など、本格的な活動を開始した。

73年からは、学園の生徒や学生、教職員が学術研究や研修のためデンマークを訪れる拠点にもなった。

80年から所長を務めた矢野創は「安易に異国情緒への興味に迎合することなく、今の日本を紹介すべきだ」と当時の方針を記す。

国際部長だった藤牧新平は「ヨーロッパでの交流を活発に展開できたのは、センターがあったから」と話す。日本と欧州の研究者による「日本学シンポジウム」や「平和シンポジウム」が実現した背景には、スタッフの尽力が大きかったという。79年には付属図書館の分館として、日本文化関係の書籍の充実にも着手、3000冊を超える蔵書を誇っている。

82年から常駐した渡辺隆司は「日本文化の研究者から日本語を学ぶ学生、一般市民まで、幅広く利用されていた」と振り返る。センターは、ヨーロッパに対する東海大学の、そして日本の“窓”として、今も開かれている。

## インターネットホームページについて

URL : <http://www.tokai.ac.jp/kouyu/> (校友会)

<http://www.pr.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

同窓会・校友会・後援会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお願いいたします。

東海大学校友会（後援会・白鷗会・同窓会）事務局

東海大学事務部校友課

〒 259-1292 平塚市北金目1117

TEL 0463-58-1211 (内 2385)

E-mail [koyukai@tokai.ac.jp](mailto:koyukai@tokai.ac.jp)

# 東海カード会員だより

2009年11月20日発行

各支部総会・校友会(同窓会・後援会・白鷗会各会員を含みます)日程(予定)

…詳細は各担当事務局・または校友会へ…

2009.10.28 現在

1. 12月 5日 (土) 同窓会大阪支部総会  
12:30～ 大阪キャッスルホテル
2. 12月 5日 (土) 同窓会新潟支部総会
3. 2010年 (土) 第85回東京箱根往復駅伝競走応援(～1/3)  
1月 2日 (東京・神奈川各応援地点にて。  
詳細は後日同窓会ホームページに掲載します)
4. 1月23日 (土) 愛媛県学園校友会役員会  
18:00 伊予鉄会館
5. 2月20日 (土) 同窓会町田支部総会  
15:00 ホテルラポール千寿閣
6. 2月27日 (土) 同窓会茨城支部総会・懇親会  
17:00～ 三の丸ホテル
7. 3月13日 (土) 同窓会三多摩支部総会  
17:00～ 望星学塾

## 提携協力店募集のお知らせ

東海カードでご利用頂ける独自の協力店は、会員の皆様のご協力により全国458店舗・施設に及んでおります。(2008.7.2 現在)

東海カードをより価値あるものにするために、引き続き皆様に協力店の募集をお願いしております。詳細は同窓会事務局までご連絡をお願いします。

## 東海大学ネットをご活用ください

- ・生涯メールアドレス(転送専用)の利用
- ・登録会員に対する情報の登録・公開、会員の検索とメッセージ送信
- ・詳細は以下のURLを参照ください。

[http://www.u-tokai.ac.jp/graduation/t\\_net/index.html](http://www.u-tokai.ac.jp/graduation/t_net/index.html)

## インターネットホームページについて

URL : <http://www.tokai.ac.jp/kouyu/> (校友会)

<http://www.pr.tokai.ac.jp/kouenkai/> (後援会)

<http://www.kouyu.tokai.ac.jp/dousoukai/> (同窓会)

同窓会・校友会・後援会ではホームページを開設しております。会員の皆様からの情報をもとに内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご希望をお寄せ下さい。事務局までお気軽にお問い合わせいたします。

## 東海大学歴史点描

最先端の現場を担う人材を 高輪の電気通信技術者教育

電気通信技術者養成学校「電気通信工学校」として始まった。当時は、松前重義が中心となって開発した無装荷ケーブル方式による電信電話網の整備計画が進むなど電気通信技術が急速に発展。一方で、生産現場を担う人材は慢性的に不足していた。

そこで立ち上がったのが、松前、梶井剛らのちに東海大学を設立する逓信省の技術者たち。メーカーや技術者から寄せられた寄付をもとに、通信機器の製造や運用に従事する人材を育成する学校を設立した。

初代校長には逓信省工務局電話課長などを務めた小船井敬吉が就任。企業から寄付された最新の機器を使った実習を多く組み込んだ、実践力を重視したカリキュラムを持つ学校が誕生した。

「学生は各地の電気店の跡継ぎや、社会人経験者が多かった」と44年卒業の山田壽松は語る。そのほかにも逓信省の各地方局から選抜された技術者が、最新技術を学ぶために多く通っていた。松前をはじめ逓信省や企業の技術者が行う授業は、どれも最先端のものばかりだった。

44年には、東海大学の前身である航空科学専門学校と合併。発展が期待されたが、45年に太平洋戦争が終わると、高輪校舎も苦難の日々を迎える。48年には東海高等通信工学校に改組。63年には東海大学短期大学部電気通信科となり、通信工学、電子工学、電波通信の3コース制を導入した。変遷を重ねる中でも「創立の理念を守ろうと苦心を重ねた」と教授を務めた相馬正樹は記す。

60年に東海高等通信工学校に入学した立石和雄は「社会人経験者も多く、向学心に燃える学生が多かった。小船井校長の“校長数学”をはじめ実用的な科目が多く、みっちり鍛えられた」と振り返る。

短大時代、無線通信士の養成を目指す電波通信コースでは、企業の協力を得て東京湾内でカッターボートによる海洋訓練を開講。その後タンカーで実務を経験する海洋訓練も導入された。

現在は、日本の基盤産業であるソフトウェア開発を担う人材を育成する、東海大学情報通信学部と大学院組込み技術研究科が開設され、短大としての役割を終えた。日本の先端技術を支える実践力ある人材を育成する。高輪校舎の伝統は今も引き継がれている。

東海大学校友会（後援会・白鷗会・同窓会）事務局

東海大学事務部校友課

〒 259-1292 平塚市北金目1117

TEL 0463-58-1211 (内 2385)

E-mail koyukai@tokai.ac.jp